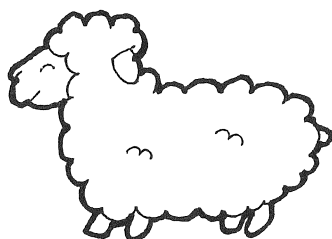


ひとつぶ むぎ  
一粒の麦 《ヨハネ 12<sup>しょう</sup> 12～25<sup>せつ</sup>節》

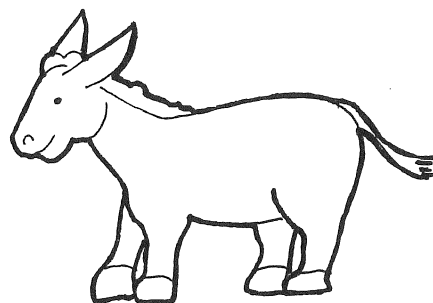
1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① イエス<sup>さま</sup>様がエルサレム<sup>にゆうじょう</sup>に入城<sup>とき</sup>された時、乗っていた動物<sup>どうぶつ</sup>はどちらでしょう？  
○をつけてね。

◆ ひつじの子<sup>こ</sup>



◆ ろばの子<sup>こ</sup>



- ② 人々<sup>ひとびと</sup>の様子<sup>ようす</sup>はどうでしたか？

あいている言葉<sup>ことば</sup>を□からえらんで、番号<sup>ばんごう</sup>を書いてうめね。

【                      】を手<sup>て</sup>にもって、

「【                      】。祝福<sup>しゅくふく</sup>あれ。

イスラエルの【                      】に」と叫<sup>さけ</sup>び、

イエス<sup>さま</sup>様を【                      】迎<sup>むか</sup>えました。

1. 王<sup>おう</sup>
2. しゅろの枝<sup>えだ</sup>
3. ホサナ
4. よろこんで

- ③ イエス<sup>さま</sup>様が言<sup>い</sup>われたきょうのみ言葉<sup>ことば</sup>を、おぼえながら書<sup>か</sup>いてみよう！

ヨハネ 12<sup>しょう</sup> 章 24<sup>せつ</sup>節

2. かんがえてみよう！

「一粒<sup>ひとつぶ</sup>の麦<sup>むぎ</sup>」のように、あなたのために死<sup>し</sup>んでくださったのは  
だれでしょう？ 文字<sup>もじ</sup>をうめてね。



《 お祈<sup>いの</sup>りしよう！ 》

天<sup>てん</sup>のおとうさま。イエス<sup>さま</sup>様が私<sup>わたし</sup>の罪<sup>つみ</sup>の身代<sup>み</sup>わりに、十<sup>じ</sup>字<sup>じ</sup>架<sup>か</sup>で死<sup>し</sup>んでくださったことをありが  
とうございます。自分<sup>じぶん</sup>のことばかりではなく、イエス<sup>さま</sup>様のように、神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>や人<sup>ひと</sup>のために生<sup>い</sup>きるこ  
とができるように、愛<sup>あい</sup>を与<sup>あた</sup>えてください。イエス<sup>さま</sup>様のおなまえによって、お祈<sup>いの</sup>りします。アーメン。

ふっかつ はつほ  
復活の初穂 《第1コリント 15章 12～22節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① イエス様は十字架にかかれる前、どのようなことを言っておられましたか？  
下の文字をなぞって、完成させよう！

みつ か め

「三日目によみがえる。」

- ② 十字架で死なれたイエス様の復活は本当ですか？ うそですか？ ○をつけてね。

★ 本当

★ うそ

- ③ それは、どのみ言葉からわかりますか？  
きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！



第1コリント 15章 20節

2. かんがえよう！

私たちはイエス様のおかげで、復活の希望を持つことができるようになりました。  
それはどのようなことですか？

あいている言葉を□からえらんで、番号を書いてうめてね。

私たちもいつかは【 】にます。

でも、【 】を信じるなら、

私たちも同じように【 】して、

【 】に行くことができます。

1. イエス様
2. 死
3. 復活
4. 天国

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。イエス様の復活は本当だと知りました。イエス様を信じるなら、私も復活の希望をもてることをありがとうございます。天国に行く日まで、イエス様を信じて生き続けることができるように助けてください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

# 復活の主の約束 《マタイ 28章 1:6～20節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 弟子たちがイエス様に言われたとおりに登った山は、どこにありましたか？  
文字をうめてね。

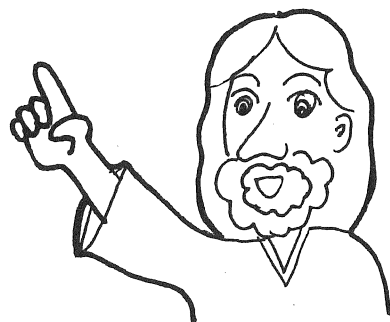
○ リ ○ ヤ

- ② すべての権威をもっているイエス様は、  
弟子たちに何を命じられましたか？ ○をつけてね。

★ 「バプテスマをさすけなさい。」

★ 「わたしを忘れなさい。」

★ 「わたしが命じたことを守るように教えなさい。」



- ③ イエス様が与えてくださった約束はなんでしょう？  
きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

マタイ 28章 20節

2. かんがえよう！

- ① あなたはイエス様の復活をどう思いますか？  
【 信じる / 信じない / よくわからない 】
- ② イエス様はあなたといつも一緒ですか？ 【 はい / いいえ 】
- ③ 「イエス様がいつも一緒にいてくれる！」と思うと、どんな気持ちになるかな？  
【

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。復活されたイエス様は今も生きておられ、いつも私と一緒にいてくださることをありがとうございます。私もイエス様と一緒に歩み、約束のみ言葉に生きる人にかえてください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

# つた 伝えられた福音 <sup>ふくいん</sup> 《第1コリント 15章 1～11節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① <sup>した</sup>下のあいている<sup>ことば</sup>言葉をなぞり、パウロが<sup>つた</sup>伝えた<sup>ふくいん</sup>福音をかんせいさせましょう！

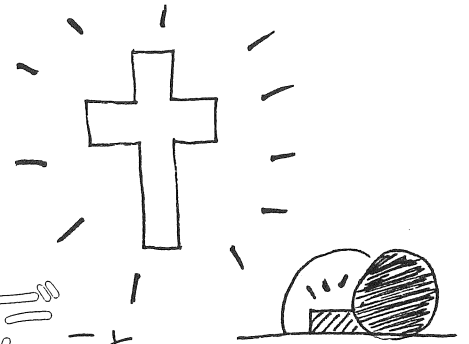
キリストは

せいしよに<sup>か</sup>書いてあるとおり、

<sup>わたし</sup>私たちの<sup>つみ</sup>つみのために<sup>しんだ</sup>しんだこと、

<sup>ほうむ</sup>葬られたこと、<sup>みっかめ</sup>三日目に<sup>よみがえられた</sup>よみがえられたこと、

ペテロや<sup>でし</sup>弟子たちに<sup>あらわれた</sup>あらわれたことです。



- ② パウロはイエス様によって<sup>か</sup>変えられたことを、どのように<sup>かんしゃ</sup>感謝しているでしょう？  
きょうの<sup>ことば</sup>み言葉をおぼえながら<sup>か</sup>書いてみましょう！

第1コリント 15章 20節

2. かんがえよう！

- ① <sup>ふっかつ</sup>復活されたイエス様は、<sup>さま</sup>多くの<sup>おお</sup>人に<sup>ひと</sup>現れましたか？ 【 はい / いいえ 】
- ② そのことから、イエス様の<sup>さま</sup>復活がどうだったことが<sup>わ</sup>わかりますか？  
【 <sup>ほんとう</sup>本当だったこと / うそだったこと 】
- ③ あなたはこの<sup>もっと</sup>最も<sup>たいせつ</sup>大切な<sup>ふくいん</sup>福音を<sup>しん</sup>信じますか？ 【 はい / いいえ 】

《 お祈りしよう！ 》

<sup>てん</sup>天のおとうさま。最も<sup>たいせつ</sup>大切な<sup>ふくいん</sup>福音を<sup>し</sup>知りました。わたしは<sup>しん</sup>信じます。神様の<sup>かみさま</sup>恵みによって、神様に<sup>よろこ</sup>喜ばれる<sup>こ</sup>子どもに<sup>か</sup>変わってください。イエス様の<sup>なまえ</sup>おなまえによって、お祈りします。アーメン。

# 福音の勝利

《第1コリント 15章50～58節》

## 1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① イエス様が再び地上に来られる時、イエス様を信じる人はどうなるのかな？  
きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

第1コリント 15章51節

- ② それはどのように変わることでしょう？

右の☆と左の★であっているものを線で引きましょう。

死ぬもの ☆

★ 主のごほうびいっぱい

死んだ人 ☆

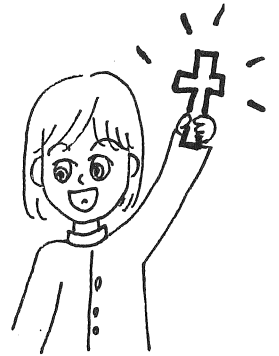
★ 死なないもの

苦しみいっぱい ☆

★ よみがえる

- ③ 神様はだれによって、私たちに勝利を与えてくださいましたか？  
下の文字をなぞりましょう。

主イエス・キリスト



## 2. かんがえよう！

イエス様が来られる日まで、あなたはどのように過ごしたらよいのでしょうか？

神様が喜ばれるものに、○をつけてね。

★ わがままに生きる

★ 神様のために生きる

★ み言葉にしたがう

★ 占いにしたがう

★ 教会に行かない

★ イエス様を信じる

《お祈りしよう！》

天のおとうさま。イエス様によって、死からも、罪からも、苦しみからも勝利できることをあらがとうございます。イエス様が来られる日まで、いつもイエス様を信じて、神様のお手伝いを力いっぱいできますように。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

# キリストの昇天 しょうてん 《ルカ 24章50～53節

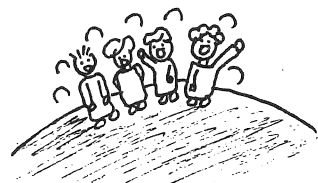
1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① イエス様が天に昇られる時、何を与えてくださると約束されましたか？  
文字をうめてね。

○ い ○ い

- ② イエス様はどのような様子で、天にあげられましたか？  
きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

ルカ 24章51節



- ③ それを見た弟子たちは、その後どうしましたか？ ○をつけてね。

◆ 悲しんで、動けなかった。

◆ 喜んで帰り、いつも神様を礼拝していた。

2. かんがえよう！

- ① これからのイエス様について、あっているものに○をつけましょう。

★ もう一度、来られます。

★ 二度と来ません。

- ② あなたは、もう一度イエス様が来られることについて、どう思いますか？

【 信じる / 信じない / わからない 】

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。祝福のお祈りをしながら天にあげられたイエス様が、もう一度来られることを知りました。私もそのことを信じて、イエス様のことを待つことができるように助けてください。イエス様のおなまえによって、お祈ります。アーメン。

# 信仰の母 ハンナ

《サムエル記上 1章 1～20節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

① ハンナの<sup>かな</sup>悲しみはどんなことでしたか？ ○をつけてね。

▲ <sup>こ</sup>子どもがたくさんいた。

▲ <sup>こ</sup>子どもがいなくて、いじめられていた。

② ハンナは<sup>かみさま</sup>神様の<sup>まえ</sup>前で、<sup>なに</sup>何をしたでしょう？

きょうのみ<sup>ことば</sup>言葉をおぼえながら<sup>か</sup>書いてみよう！



サムエル記上 1章 10節

③ ハンナは<sup>かみさま</sup>神様と、<sup>やくそく</sup>どんな約束をしましたか？ ○をつけてね。

<sup>あた</sup>与えられた<sup>こ</sup>子どもは…

◆ <sup>かみさま</sup>神様のご用のために、おささげします。

◆ <sup>じぶん</sup>自分のそばにおいておきます。

2. かんがえよう！

① <sup>かみさま</sup>神様はハンナに<sup>あか</sup>赤ちゃんを<sup>あた</sup>与えてくださいましたか？ 【 はい / いいえ 】

② なんという<sup>なまえ</sup>名前でしょうか？ <sup>した</sup>下の文字を<sup>も</sup>なぞってね。

サ ム エ ル

《 お祈りしよう！ 》

<sup>てん</sup>天のおとうさま。私<sup>わたし</sup>もハンナのように、<sup>かみさま</sup>神様に<sup>こころ</sup>心を<sup>そそ</sup>注ぎだして、<sup>いの</sup>ありのままをお祈りできま  
すように。そして、<sup>かみさま</sup>神様に<sup>もち</sup>用いていただける<sup>いの</sup>祈りの<sup>ひと</sup>人になれますように。イエス様の<sup>なまえ</sup>おなまえ  
によって、お祈りします。アーメン。

せいれい もと  
**聖霊を求めて** 《第1コリント 2章14節～3章3節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

① 一度目と二度目の誕生日について、

右の☆と左の★であっているものを線で引きましょう。

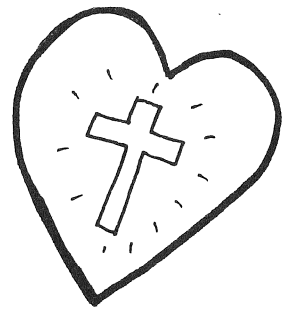


- ★ お母さんのお腹から生まれた日
- ★ イエス様を信じた人にだけある誕生日
- ★ 神様の子どもになった日
- ★ だれにでもある誕生日

② 神様の子どもとされた霊の人は、何をもっていますか？

きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

第1コリント 2章16節



2. かんがえよう！

下の□のなかで、

① あなたがやったことのあるものに○をつけてみましょう。

② 霊の人がすることには△、肉の人がするものには×をつけましょう。

わがまま	えこひいき	告げ口	憎しみ
いじめ	じまん	あやまらない	ねたみ
ゆるす	大切に <sup>だいせつ</sup> する	おもいやる	罪 <sup>つみ</sup> が <sup>わ</sup> 分かる
よろこぶ	はげます	友 <sup>とも</sup> だちになる	賛美 <sup>さんび</sup> する
み言葉 <sup>ことば</sup> のとおり <sup>い</sup> に生きる		イエス様 <sup>さま</sup> の思い <sup>おも</sup> をもつ	

《 お祈りしよう！ 》

天<sup>てん</sup>のおとうさま。イエス様<sup>さま</sup>を信<sup>しん</sup>じるだけで、私<sup>わたし</sup>も神様<sup>かみさま</sup>の子どもになれることをありがとうござい<sup>ます</sup>。イエス様<sup>さま</sup>と<sup>おな</sup>同じ<sup>おも</sup>い<sup>あゆ</sup>い<sup>つづ</sup>をも<sup>つ</sup>って歩<sup>あゆ</sup>み続<sup>つづ</sup>けることが<sup>たす</sup>できるように助<sup>たす</sup>けて<sup>たす</sup>ください。イエス様<sup>さま</sup>のおなまえによ<sup>い</sup>って、お祈<sup>いの</sup>りし<sup>いの</sup>ます。アーメン。



# たす ぬし 助け主 (ペンテコステ) 《ヨハネ 14 章 15～17 節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① イエス様は神様に何を願いますと約束してくださいましたか？

きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

ヨハネ 14 章 16 節

- ② 「助け主」とは、どなたのことでしょう？ ○をつけてね。

◆ かぞく 家族

◆ とも 友だち

◆ しんり みたま 真理の御霊

- ③ 真理の御霊はどんなお方ですか？

下のあいている文字をうめて、文をかんせいさせましょう。

いつも わたし たちと いっしょ にいてくださり、  
わたし たちの うち にいてくださいます。

2. かんがえよう！

真理の御霊は、私 たちに何を教えてくださいませんか？

あいている言葉を□からえらんで、数字を書いてうめてね。

- ★ かみさま 神様の【 】  
★ 【 】のみ言葉  
★ ひとりひとりの【 】  
★ 【 】の十字架が

【 】(あなたの名前)の罪のためであること

1. かみさま 神様  
2. あい 愛  
3. イエス様  
4. つみ 罪

《 お祈りしよう！ 》

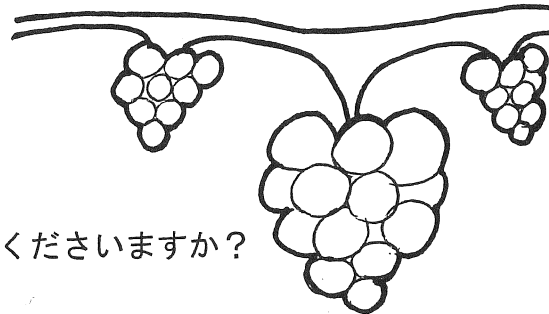
天のおとうさま。神様が真理の御霊を送ってくださいありがとうございます。いつも私と  
いっしょにいてくださるので、とても心強いです。さみしがっている人に、このことを伝える  
ことができるように助けてください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

み た ま み  
御霊の実 《ガラテヤ 5章 16～26節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 神様の子どもにふさわしい生活ができるように導いてくださるのは  
どなたでしょう？ 下の文字をなぞりましょう。

せ い れ い



- ② 聖霊はイエス様を信じる人に、どんな実を結ばせてくださいますか？  
きょうのみ言葉を**おぼえ**ながら書いてみよう！

.....

ガラテヤ 5章 22～23節

2. かんがえよう！

下の□のなかで、

- ① あなたがやったことのあるものに、○をつけてみましょう。  
② 御霊の実だと思ふものに△を、そうでないものには×をつけましょう。

礼拝	聖書を読む	さんび	お祈り
うそ	仲間はずれ	けんか	ぬすみ
なかよくする	約束を守る	うらない	ゆるさない
ごめんなさい	ありがとう	助けあう	がまん

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。イエス様を信じるだけで、神様の子どもにさせていただけることをありがとう  
ございます。私も聖霊によって歩み、御霊の実を結ぶことができるように助けてください。  
イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

ちい  
**小さなさげもの** 《ヨハネ 6<sup>しょう</sup>章 1～14<sup>せつ</sup>節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

① 困<sup>こま</sup>ったことが群衆<sup>ぐんしゅう</sup>におきました。それは何<sup>なん</sup>でしょう？ ○をつけてね。

▲ み言葉<sup>ことば</sup>がなかった

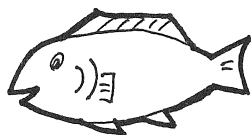
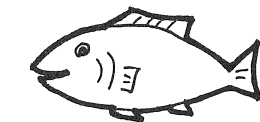
▲ 食べ<sup>た</sup>ものがなかった

② そんな時<sup>とき</sup>、アンデレはイエス様<sup>さま</sup>のもとに、だれをつれてきましたか？

きょうのみ言葉<sup>ことば</sup>をおぼえながら書<sup>か</sup>いてみよう！

ヨハネ 6<sup>しょう</sup>章 9<sup>せつ</sup>節

③ 少年<sup>しょうねん</sup>は魚<sup>さかな</sup>とパンをイエス様<sup>さま</sup>にいくつわたしたかな？ 下<sup>した</sup>の絵<sup>え</sup>に色<sup>いろ</sup>をぬりましょう。



2. かんがえよう！

あなたも神様<sup>かみさま</sup>のお役<sup>やく</sup>に立つ<sup>た</sup>ことができますよ！

あなたは神様<sup>かみさま</sup>のために、何<sup>なに</sup>をしたいですか？ 神様<sup>かみさま</sup>のために、何<sup>なに</sup>ができるかな？

★ み言葉<sup>ことば</sup>を伝<sup>つた</sup>える

★ 病<sup>びょう</sup>気<sup>き</sup>の人<sup>ひと</sup>をお見<sup>み</sup>舞<sup>ま</sup>いする

★ 教<sup>きょう</sup>会<sup>かい</sup>を掃<sup>そう</sup>除<sup>じ</sup>する

★ 困<sup>こま</sup>っている人<sup>ひと</sup>を助<sup>たす</sup>ける

★ 友<sup>とも</sup>だちを教<sup>きょう</sup>会<sup>かい</sup>にさそ<sup>う</sup>う

★ 悲<sup>かな</sup>しんでいる人<sup>ひと</sup>を励<sup>はげ</sup>ます

★ その他<sup>た</sup>【

】

《 お祈<sup>いの</sup>りしよう！ 》

天<sup>てん</sup>のおとうさま。子ども<sup>わたくし</sup>の私<sup>わたし</sup>でも、神様<sup>かみさま</sup>のお役<sup>やく</sup>にたてることをありがとうございます。神様<sup>かみさま</sup>が  
 してほしいと思<sup>おも</sup>うことを行<sup>おこな</sup>えるように助<sup>たす</sup>けてください。また、人<sup>ひと</sup>の役<sup>やく</sup>にも立<sup>た</sup>つことができる  
 ようにしてください。イエス様<sup>イエス</sup>のおなまえによって、お祈<sup>いの</sup>りします。アーメン。

# ヨブの信仰

《ヨブ 1章 1～22節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

① ヨブはどんな人でしたか？

あいている言葉を□からえらんで、数字を書いてうめてね。

★ 汚れがなくて【 】人

★ 【 】を恐れ敬う人

★ 【 】から遠ざかった人

★ 子どものために【 】人

1. 神様
2. 正しい
3. 祈る
4. 悪

② すべてのものがなくなった時、ヨブは何をしましたか？ ○をつけてね。

◆ 神様をうらんだ

◆ 神様に礼拝した



③ ヨブはその時、何と言ったでしょう？

きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

ヨブ 1章 21節

2. かんがえよう！

悲しいことやつらいことが起きたとき、あなたならどうしますか？

◆ ばちが当たったと思う

◆ 神様にお祈りする

◆ 神様に文句を言う

◆ 神様につらい気持ちを伝える

◆ 神様をうらむ

◆ 良い方向に導く神様を信じる

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。どんなことが起こっても、罪を犯したり、神様をうらむことがないように守ってください。神様を信じつづけることができますように。また、家族もイエス様を信じて、罪を犯さないように守ってください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

## ステパノ 《使徒 6章 1～15節》

## 1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① ステパノはどんな人でしたか？ あいている言葉を□からえらんで、  
数字を書いてうめてね。

神様の知恵と【 】に満ちた

評判の【 】人でした。

また、【 】と力に満ちて、

すばらしい奇跡と【 】を行っていました。

1. 御霊
2. 恵み
3. よい
4. しるし

- ② 悪口をたくさん言われていた時、ステパノはどんな顔をしていましたか？  
きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

使徒 6章 15節



## 2. かんがえよう！

- ① あなたは悪口を言われたことがありますか？ 【 はい / いいえ 】

- ② あなたは悪口や陰口を言われたり、嫌がらせをうけた時はどうしますか？

▲ いいかえす ▲ にくいと思う ▲ がまんする

▲ その他【 】

- ③ ステパノが悪口をいわれても言い返さなかったり、その人たちのために祈ることができたのは、どうしてでしょう？ 下のあいている文字をなぞりましょう。

イエスさまと同じ心を持っていたからです。

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。私にも御霊と知恵、恵みと力を与えてください。どんな時にも神様を見上げ、イエス様と同じ心をもって歩み、神様の子どもとして輝くことができるように助けてください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

## 2007年度 牧羊者 第Ⅰ巻

# ワークB解説 4~6月

4/1

- 質問1 イエス様はろばの子に乗って、エルサレムに入城されました。その時、人々はしゅろの枝を手に持ち、「ホサナ、主の御名によってきたる者に祝福あれ、イスラエルの王に」と叫び、喜んで迎え入れました。それに対しイエス様は、十字架の死への深い思いをもって入城されました。
- 質問2 一粒の麦の死があつての結実のように、イエス様の死がなければ、私たちの救いはありませんでした。神様の愛、イエス様の十字架の死を覚えつつ感謝し、また、イエス様のように、神様や人のために愛をもって生きることができるようにと祈りましょう。

4/8

- 質問1 イエス様は生前から、十字架の死と復活のことを弟子たちに教えていました（マルコ9章31節参照）。そして、弟子たちはイエス様の復活を体験し、その事実を伝えました。暗唱聖句にも約束されているように、イエス様の復活は事実（本当）です。
- 質問2 イエス様の復活が事実であり、また、死んだ者の初穂としての復活ですので、私たちは死を恐れず、復活の希望をいだいて生きることができます。なんと感謝なことでしょう。しかし、天国への希望があるからと言って、自分で死を早めることは止めましょう。どんなに苦しいことがあっても、死を選択することなく、イエス様を信じ、この復活の希望をいだいて生き続けることができるように祈りましょう。

4/15

- 質問1 弟子たちはイエス様が命じられたとおりに、ガリラヤへ行き、山に登りました。彼らはそこで復活されたイエス様にお会いし、イエス様の昇天も目の当たりにすることができました。天地のいっさいの権威を授けられたイエス様は、弟子たちに福音宣教を命じられ、約束も与えてくださいました。主が世の終わりまでいつも共にいてくださり、また、福音宣教のために、共に働いてくださる（マルコ16章20節参照）という約束でした。主が共にいてくださるとは、なんとという平安でしょう。
- 質問2 イエス様の復活が事実であり、今も共にいてくださるということは、私たちにとってもなんと感謝なことでしょう。主の憐れみによって、イエス様の復活を素直に信じることができるのは幸いです。しかし、復活を理解できず、信じられない子どももいるでしょう。子どもたちの気持ちを素直に受け止め、理解できるように、信じることができるようにと、共に祈りましょう。主は必ず信じることができるように変えてくださいます。

4/22

- 質問1 パウロはコリントの人々に、最も大事な福音を伝え続けました。また、パウロ自身も復活の主にお出会いし、迫害者から宣教師へと変えられた事実を証しました。それは神様の恵み以外のなにものでもありません。私たちはこれをいつも思い出し、福音に生きる者とならせていただきます。また、一人でも多くの人々にこの恵みを伝えましょう。
- 質問2 復活されたイエス様は、ペテロや弟子たちをはじめ、多くの人に現れました。そのことから、イエス様の復活が事実であることが分かります。また、現代に至るまでこの福音が伝えられ、信じる人々が、主にあつて変えられている人々がいるということも事実であり、主の恵みです。子どもたちが福音を信じることができ、福音に生きる者となれますように、共に祈りましょう。

4/29

- 質問1 よみがえられたイエス様は再び地上に來られます。その時、終わりのラッパの響きと共に、キリストを信じる者は一瞬にして変えられるのです。死ぬものが死なないものに、死者が朽ちないものによみがえり、そして、今までの労苦が主の報いへと変えられるのです。その勝利は、神様が主イエス・キリストによって、私たちに与えてくださったものです。
- 質問2 イエス様が再び來られる日まで、私たちはイエス様を信じる信仰とみ言葉に堅く立ちましよう。そして、主に助けていただきながら、いつも主のわざに励みましよう。

5/6

- 質問1 イエス様は天に昇られる時、助け主なる聖霊を与えてくださると約束してくださいました。弟子たちはイエス様の昇天を目の当たりにし、また、聖霊の約束をいただいて、喜んで帰って行き、絶えず主を礼拝しました。聖霊の約束があることを知ることは、とても大切なことです。私たちもイエス様を信じて、「聖霊を与えてください」と共に祈りましよう。
- 質問2 イエス様は祝福した姿で天にあげられました。そのイエス様がもう一度來られるということは、信じがたく難しいことかもしれません。しかし、信じるができるように、共に祈りましよう。

5/13

- 質問1 ハンナには子どもが与えられないという悲しみと、そのためにいじめられるという苦しみがありました。ハンナは激しく泣きながら、深い悲しみを主に祈りました。私たちもつらいことや悲しいことがあるなら、ありのままを神様に祈りましよう。
- 質問2 神様はハンナの真実な祈りに応えてくださり、男の子を与えてくださいました。ハンナはその子をサムエルと名づけ、神様との約束どおり、サムエルを神様のご用のためにささげました。神様に祈る人は、神様のご用に用いていただくことができます。そのことを知り、私たちも神様に用いていただける祈りの人になることができるように、共に祈りましよう。

5/20

- 質問1 私たちの一度目の誕生日は、お母さんのお腹の中から生まれた日で、誰にでもある誕生日です。しかし、二度目はイエス様を信じた人にだけある、神様の子どもとされた日です。一度目の誕生日しかもっていない生まれながらの人は、神様の御霊の賜物を愚かなものと思うので、それらを受け入れることができません。しかし、私たちはなくてはならない聖霊を求めましよう。
- 質問2 肉の人はイエス様の心を持っていないので、自己中心です。しかし、霊の人はイエス様を信じて、イエス様と同じ思いをもつ、神様中心の人なので、神様に喜ばれることを行うことができます。私たちも聖霊によってイエス様を信じる者、イエス様の思いを持つ者とならせていただき、神様のみ心を行う人へと変えていただきましよう。

5/27

- 質問1 イエス様はご自分の名によって願うことは、何でもかなえられると教えられました（ヨハネ14章13節）。十字架と復活と昇天を覚悟していたイエス様は、いつまでも弟子たちと共にいることはできないことを知っていたので、「神様に助け主を送ってくださるようお願いしよ
- う」と約束してくださいました。助け主とは真理の御霊であり、その方は、いつも共におり、私たちのうちにいてくださいます。私たちもイエス様の名によって求めるならば、御霊を受けることができます。なんと感謝なことでしょう。
- 質問2 真理の御霊は私たちに、神様の愛、神様のみ言葉、私たち一人一人の罪、イエス様の十字架が私の罪のためであることを教えてくださいます。

6/3

- 質問1 イエス様を救い主と信じて神様の子どもとされた者には、御霊（聖霊）に導かれて生きるというすばらしい道が備えられています。そして、御霊は神様の喜ばれる実を私たちに結ばせてくださり、私たちが努力してもできなかったことを、できるように変えてくださるのです。なんと感謝なことでしょう。
- 質問2 御霊に導かれて歩んでいる神様の子どもは、神様の喜ばれることをしたいと願い、また行います。御霊の実と肉の欲（肉の働き）について、具体的に考えてみましょう。それによって、自分が御霊によって歩んでいるのか、肉の欲に生きているのか確認しましょう。自分の罪深さや、肉の欲に負けてしまう弱さを素直に認め、御霊によって歩むことができるようにと主により頼みましょう。

6/10

- 質問1 イエス様が病人になされたしるしを見た群衆は、イエス様について行き、み言葉をたくさん聞くことができました。しかし、お腹がすいた日暮れになって（ルカ9章12節参照）、食べるものがありませんでした。そんな時、アンデレはイエス様のもとに五つのパンと二匹の魚を持っている少年を連れてきました。少年は持っているものすべてをイエス様に渡し、イエス様はそれを祝福してくださいました。群衆は主の祝福とその少年の持っていたものによって、満腹になることができました。
- 質問2 人から嫌われたり、馬鹿にされたりしている子どもでも、神様は一人一人を愛しておられ、神様のお役に立つ働きを任せてくださっています。神様の愛を覚えつつ、自分が神様のために何ができるのか、何をしたいのか話し合い、また、実行できるように祈りましょう。

6/17

- 質問1 ヨブは潔白で正しく、神様を畏れ敬い、悪から遠ざかった人でした。また、家族思いで、子どもたちのために、いつもとりなしの祈りをしていました。神様はそのようなヨブをととても信頼されていました。しかし、サタンはヨブの信仰は物質的祝福からくるものだと思ひ、神様の許しのもと、ヨブからすべての所有物を奪い去りました。ヨブは心を傷めたそのような時でさえも神様を恨まず、かえって主を礼拝し、主の御名を崇めました。
- 質問2 私たちにも、悲しいことやつらいことがたくさんあります。そのような時、私たちはどのように考えたらよいのか、確認しましょう。神様が私たちに信頼してくださっていることを覚え、最善をなしてくださる主を信じ続けることができるように祈りましょう。また、私たちが家族のために、とりなしの祈りをしましょう。

6/24

- 質問1 初代教会において、食卓の問題が起きた時、知恵と御霊に満ちた、評判のよい人たちが7人選ばれました。その中の一人でもあるステパノは、恵みと力に満ち、すばらしい奇跡としるしを行う人でした。議会からのねたみをかったステパノは、多くの濡れ衣をきせられ、苦しめられました。しかし、ステパノは言い返すことも、仕返しをすることもなく、いつも主を見上げていましたので、彼の顔は天使のように輝いていました。
- 質問2 悪口や陰口をいわれた時、嫌がらせを受けた時、自分はどのようなことを思い、どのようなことをするでしょう。イエス様を信じる私たちは、ステパノのように、何よりも、イエス様のように考え、行動できたら幸いですね。そのためには、いつも御霊に満たされて、イエス様と同じ心を持つことが大切です。主にあって、そのような者とならせていただくことができるように、共に祈りましょう。